# 利根川水系小貝川
# 国管理河川からの氾濫を想定した
# 水害リスクマップ
# （０．５０ｍ）【現況河道】

栃木県
茂木町
益子町
真岡市
下野市
小山市
桜川市
筑西市
結城市
下妻市
八千代町
茨城県
常総市
つくば市
坂東市
つくばみらい市
野田市
守谷市
牛久市
取手市
龍ケ崎市
柏市
流山市
我孫子市
利根町
河内町
栄町

１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１５０の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、現況の小貝川、大谷川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１５０（０．７%））の降雨に伴う洪水により小貝川、大谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和６１年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２９年３月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年８月３１日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
利根川水系小貝川、大谷川

（３）実施区間

・利根川水系小貝川
左岸：栃木県芳賀郡益子町大字長堤字下田２４３５番地先から茨城県龍ヶ崎市地先常磐線鉄道橋まで
右岸：栃木県真岡市根本２１６９番地先から茨城県取手市地先常磐線鉄道橋まで

・利根川水系大谷川
左岸：茨城県筑西市大字野殿字大道下３６１番２地先野殿橋上流端から小貝川への合流点まで
右岸：茨城県筑西市大字野殿字根田１５７７番２地先野殿橋上流端から小貝川への合流点まで

（４）算出の前提となる降雨

・年超過確率１／１０（小貝川流域、黒子上流域の７２時間総雨量１９８mm）
・年超過確率１／３０（小貝川流域、黒子上流域の７２時間総雨量２４７mm）
・年超過確率１／５０（小貝川流域、黒子上流域の７２時間総雨量２７０mm）
・年超過確率１／１５０（小貝川流域、黒子上流域の７２時間総雨量３１８mm）

（５）河道条件：現況

（６）関係市町村

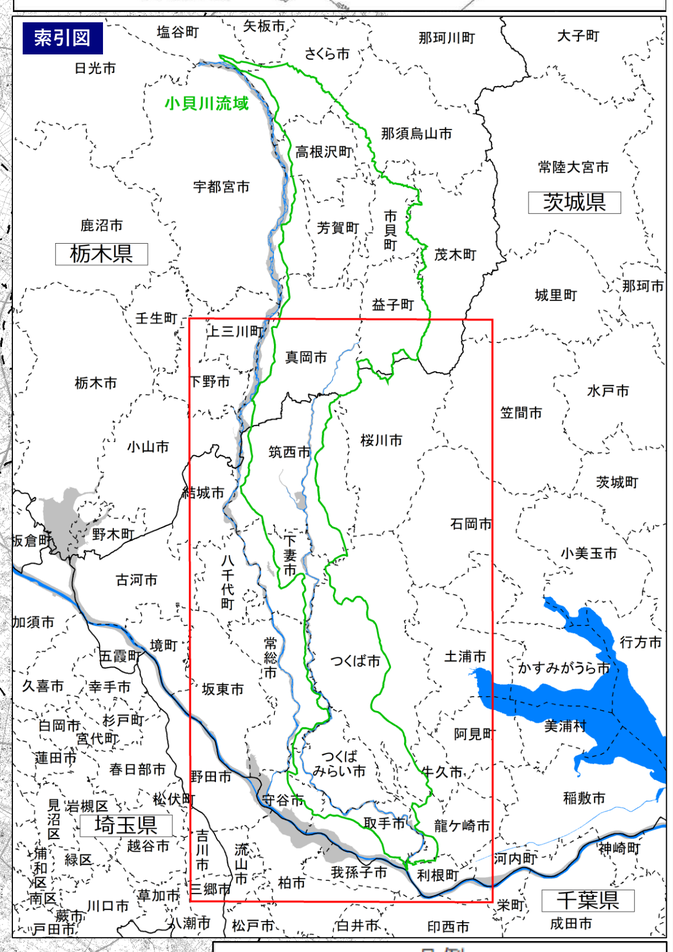
＜茨城県＞
龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、つくば市、守谷市、筑西市、つくばみらい市、河内町、利根町

＜栃木県＞
真岡市、益子町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

位置図

索引図




凡例

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模(L2)
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
- 河川等範囲
- 県界
- 市町村界

N
S

5　0　5　10　15km

※　「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R3JHf591」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない」